



希 望

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/> TEL 771-0649



「協力」と「優勝」を スローガンに

学校長 村上 裕子



5月27日（土）みんなの願いが通じたかのような真っ青な五月晴れのもとで、大勢の方々の温かい応援に支えられ杉リンピックを開催することができました。前日にたくさん雨が降り、午後の準備が間に合うかと心配しましたが5・6年生が協力して活動したのでほぼ準備が整いました。杉リンは、もちろん子どもが主役ですが、一年に一度ご来賓の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様、教職員も含めてみんなでつくりあげていく大事な行事と考えています。多くの皆様が長時間にわたり参観してくださり、いろいろなお子様に声援をおくっていただけたことは本当にありがたかったです。子どもたちはその声援に応えて精一杯の演技、競技をやりきることができました。

今年のスローガンは「みんなで協力、優勝めざせ 杉リンピック」でした。「みんなで協力」では応援団の力が大きいです。今年は赤組と黄色の二色になったことで、各組の応援団の人数が例年より増えました。大きな音が苦手な子もいるので、応援のためのペットボトルやうちわ等の手具をもつことを控えました。結果、各組を盛り上げようとそれぞれが精一杯の声を出し、応援している姿を見ることができました。大きな行事の中で自分の役割だからといってずっと続けていくのは大変なことです。応援団の子どもたちはいきいきと活動を続けていました。応援の輪がいつしか一つになり、演技や競技も白熱しました。負けて悔しい、勝って嬉しいと思うことはありますが、本気で臨む経験をすることで、少々の困難は乗り越えられる強さを身につけたように感じました。閉会式に至るまで各組の団長が見せた正々堂々とした後ろ姿は来年も続いていくことと思います。

「優勝目指して」は、競技をするときに目標とすることです。子どもたちが最後まで真剣に走り、あきらめず競技をする姿を見て、胸が熱くなりました。演技もそれぞれの特徴が出ていて、春の運動会で練習時間が少ないことを考えると、本番でがんばりたいと思う気持ちがひしひしと伝わってきました。特に5・6年生の「心をついに 組体操2017」は、最初に倒立さえもおぼつかない頃から見ているので、一つ一つの技が決まるたびに、子どもたちのやりとげようとする思いを感じました。さらに、地域の方々に出場していただいた「破鈴」やPTAの方々楽しんだ「大玉おくり」、中学生も応援で出場したMDS金管バンドの演奏、未就学児の「かけっこ」なども杉リンに花をそえていました。これらすべてが、今年のスローガンである「みんなで協力、優勝めざせ 杉リンピック」の達成につながったのだと思います。「感動をありがとう」と感謝したい気持ちでいっぱいです。朝早くから子どもたちを見守っていただいたご来賓の皆様、一日を通して受付等をしてくださったPTA役員の皆様、警備・パトロール等をしてくださったおやじの会の皆様、閉会式後の片付け等のお手伝いをしてくださった皆様、狭い会場でもお互いに譲り合ってご参観いただいた皆様、大きな音で騒がしいとは思いますがご理解をいただいた近隣の皆様。ここには記しきれないほどのたくさんの皆様方のご理解とご協力があって、今年も杉リンピックを終了することができました。心よりお礼申し上げます。いろいろなご意見やご感想があると思います。お寄せいただければ、今後の活動にいかしてまいります。